

一般社団法人プラスケア 事業報告書 (2018/3/31)

(2017 年の総括)

2018年4月に暮らしの保健室を開設して以来、200名を超える方が相談や見学に訪れた。相談内容は、がんなどの大きな病気を抱えての生活や仕事の不安から、軽微な症状が続いているが病院に行った方がいいのかどうか？というプレホスピタルレベルの対応まで幅広く、病気を抱える患者の家族としての苦悩なども多数持ち込まれた。多くの方は、暮らしの保健室でスタッフと対話を重ねることで気持ちや考えが整理され、保健室に入ってきたときには重たい表情をしていたのが、次第に晴れやかな顔へと変化していくなど目に見える効果があった。また、実際の感想としても「心が軽くなった」「看護師と話をして、そういう考え方もあるのだと気づくことができた」などという前向きな言葉を頂くことができた。

また、2018年9月から開始した「暮らしの保健室ラボ」という地域勉強会では「生と死」「がんとお金」「腸内細菌と健康の関係」など幅広いテーマを取り扱い、勉強会後のアンケート結果からも参加者からは非常に好評であった。

他の専門家との協力も幅を広げており、地域の薬局や栄養士、鍼灸師、臨床化粧療法士、音楽家など様々な職種が暮らしの保健室に関わり、イベントでの講師や「お灸セルフケア教室」「化粧外来」といった独自サービスも展開されるようになった。

結果として会員として登録頂いた方も 40 名を超え、また多数の方々から寄付金を頂けたことで、法人の収益安定化に寄与している。

	来訪者	相談
2017年4月	26	2
2017年5月	8	2
2017年6月	14	2
2017年7月	6	1
2017年8月	14	1
2017年9月	23	2
2017年10月	28	17
2017年11月	22	6
2017年12月	22	4
2018年1月	33	2
2018年2月	23	7
2018年3月	58	9
合計(延べ)	277	55
月平均	23.1	4.6
開催日数	66 日	
1日当たりの平均来訪者数	4.2 人	
1日当たりの相談件数	0.8 件	

(2018 年度に向けた課題)

今後の課題としては、まず暮らしの保健室の質向上が挙げられる。暮らしの保健室に持ち込まれる相談内容のうち、「家族が認知症で自宅から出られず、鬱々としている」「がんという病気を抱えて、どうやって生活をしていけばいいのか困っている」など既存の医療福祉システムや処方では解決が難しい問題が散見され、それに対して私たちが持っている地域情報の量が不足しているために、適切な解決策を示すことができない場合があった。

次に、暮らしの保健室の開催場所の確保である。現在は、元住吉で毎週水曜日に定期開催をしている他、武蔵小杉、武蔵新城、新丸子で不定期の開催を行っているが、その開催回数を増やすことと同時に、定期開催可能な場所を確保する必要性がある。それは、ある程度ひとつの場所でいつも開いている、という状況をつくるのが地域住民にとっては「困った時にいつでも相談できる」という安心感を生む基となるためである。

そして、地域へのリーチについての課題である。本来、私たちのサービスを必要としている方々は潜在的に多数いると予測されるものの、情報がそういった方々に届かないことで、結果的に十分なケアが受けられない例がまだまだ多数認められる。インターネットや SNS を用いた情報拡散だけでは目的とする層には届きにくく、地域へのポスティングも行ったものの効果ははかばかしくなかった。私たちのビジョンを達成するためには、ニーズのある層へのより効果的なアプローチを検討する必要がある。この課題解決策については、2018 年度事業計画書に詳記する。

(2017 年度年表)

- 4 月 11 日 一般社団法人プラスケア創業
- 19 日 暮らしの保健室 開室（元住吉）
- 22 日 暮らしの保健室 2 室目開室（武蔵新城）
- 5 月 24 日 「化粧外来」開始
- 6 月 14 日 鎌田實先生（諏訪中央病院）から視察を受ける
- 18 日 武蔵小杉駅前商店街もちつき祭りに出展
- 8 月 9 日 「お灸セルフケア教室」開始
- 9 月 10 日 暮らしの保健室ラボ（勉強会）開始
- 15 日 暮らしの保健室 3 室目開室（新丸子）
- 10 月 1 日 元住吉オズ通り商店街オズフェスタに出展
- 8 日 武蔵小杉タワーマンションへ出張しての暮らしの保健室開催
- 11 月 5 日 がん患者のつどい場「はなうめ」、Share 金沢 視察（金沢）
- 1 月 13 日 シンシユンコンサート開催
- 21 日 武蔵小杉駅前商店街もちつき祭りに出展
- 2 月 10 日 広島大学病院へ出張しての暮らしの保健室ラボ開催
- 12 日 市民活動センター「ごえん楽市」に出展
- 27 日 幸区「エンデプチマルシェ」に出展
- 3 月 19 日 暮らしの保健室 4 室目開室（武蔵溝口）
- 28 日 秋山正子さん（マギーズトーキョー共同代表）から視察を受ける

神奈川新聞、東京新聞、朝日新聞、読売新聞、かわさき FM、FM よこはま、NHK「おはよう日本」、他多数のメディアからの取材および出演あり